

# 集落座談会



## まちづくりについて 207件の意見交換

5月末から7月末までの約2カ月間、全集落で座談会を開かせていただきました。テーマを農林振興と高齢者施策としましたが、座談会に参加頂いた皆さんからは、身近な集落の課題から、町の施策に関するものまで幅広いご意見をいただきました。皆さんからいただいたご意見や質問、提言や要望などを町振興計画の5つの施策大綱に沿って紹介させていただきます。

### ○住民と行政が協働する まちづくり

【問】 JR只見線の再開通見通しは。

【答】 早期全線再開通に向けて様々な活動を行っていますが、依然として困難な状況です。しかし、只見線は住民の生活路線としてまた、町の観光資源としても重要な役割をもっていますので、再開通に向けて要望活動などの取り組みを今後も継続して行っていきます。

【問】 高齢者の買い物支援などはないか。

【答】 集落で助け合える仕組み作りの支援や、商店での配達など個々に対応されてきた事が全体的に機能するよう支援をしていきたいと考えます。

【問】 田島へのツアーバスの利便性を良くして欲しい。

【答】 現在はツアーバスという形で運行していますが、利用状況などを考え利便性についても検討していきます。

### ○自然に感謝するまちづくり

【問】 克雪事業を利用すると15年間は補助対象とならないと聞いた。もう少し期間を短くできないか。

【答】 多くの方に補助制度を活用していただきたいと考えていますので、15年間となっています。ご理解願います。

【問】 空き家対策の状況は。痛みがひどくなる前に若者向けの住宅にできないか。

【答】現在、危険家屋を最優先にして対応をどうするか所有者と協議を行っています。また、新規就農者向けなどに空き家を改築することも有効だと考えます。集落の方からも空き家情報の提供をお願いします。

### ○保健・医療・福祉が一体となった元気なまちづくり

【問】少子化が大きな問題となっている。今後どのような対策などを行っていくのか。

【答】現在、18歳以下の医療費無料、保育料の軽減や学童保育の実施などの支援を行っています。また、若い男女の出会いの場づくりなども行なっています。今後は若い世代の為の定住環境づくりや移住対策、空き家対策を含めた施策を構築したいと考えています。

【問】若い人の意見を聞く機会を設けるべき。

【答】若い人の意見を聞けるよう今後何らかの手段を講じたいと思います。

【問】町外の病院へ通院する場合の助成などは無いか。

【答】町の課題と考え、支援について検討していきたいと考えます。

【問】高齢者の為に足腰が弱らないような体操教室や集まりを開催して欲しい。

【答】各集会所などで体操やゲーム運動、食事、会話が出来る場を提供できるよう現在検討しています。

【問】現在建設中の老人ホームはどのようなものか。またいつ開所するのか。

【答】只見ホームのサテライト施設（只見ホームと密接な連携を確保しつつ、別の場所で運営される施設）で全体で29床の小規模特別養護老人ホームです。12月初旬の開所を予定しています。

【問】高齢者は今後も増えるが、施設の概要やサービス、費用、入居待機者などを広報紙で周知して欲しい。若年層にも認識してもらおう事が必要。

【答】なるべく具体的な数字を示すなど介護する場合の経費が分かるような広報を検討します。

### ○新たな産業と循環型社会を構築する町づくり

【問】高齢化が進み農業の担い手が不足している。町の支援策などはないか。

【答】農地集積やイターン就農者に係る支援を現在行っており、永続的な農地保全を図るための仕組みづくりとして、担い手支援策、集落等支援策を現在検討しております。

【問】農家が増えるように、農業で儲かる仕組みづくりが必要。

【答】ふるさと納税返礼米や只見の米をブランド米にするなど米が高く売れる仕組みづくりを検討していきます。

【問】有害鳥獣の対応について、駆除隊の減少が課題だと考える。農作物などの被害が大きい状況なので駆除隊の整備をお願いしたい。

【答】駆除隊確保を目的に、狩猟免許取得更新に係る補助制度を本年度創設しました。また、個人負担はありますが、鳥獣被害低減のために装置を設置する方には補助制度がありますのでご検討ください。

### ○教育・文化を大切にするまちづくり

【問】只見高校の山村留学生が卒業後に只見町に残るような対策をして欲しい。

【答】卒業生が町内に残るような対策を考えていきます。

### ○その他

【問】ふるさと納税はどのくらいあるのか。またどのような返礼品があるのか。

【答】昨年度は約230万円のふるさと納税がありました。今年4カ月で約250万円となっており昨年よりも多くなっています。また返礼品は、1万円の納税に対して約4千円の「自然首都・只見」推奨品を送っています。今後は只見町のお米を返礼品に加える予定となっています。

【問】こういった座談会はおしらせばんだけでなく、工夫をしてもっと大勢の方に来てもらうようにした方が良い。

【答】多くの方に来ていただけるような周知の仕方を考えたいと思います。また、集落の皆さんも声をかけあつての座談会への参加などのご協力をお願いします。